

第10回香川県ダム検証に係る検討委員会 主な意見の要旨

※ 平成27年7月17日の会議は、台風11号の影響により中止となったため、各委員に持ち回って説明し、意見をいただいた。

【概要】

- ・事務局から五名ダム再開発の計画変更、ダム事業の点検、治水利水代替案について説明を行った。

○主な意見

(1) 五名ダム再開発の計画変更、ダム事業の点検、治水利水代替案について

学識経験者

- ダムは大事だと考えている。ダムは水の教育の場でもある。行政は、治水や利水の効果や大切さについて、もっと住民や県民にアピールしていく必要がある。
- ダムの役割として、「治水」、「利水」がある。「利水」の中には、植物や生物に配慮した環境保護の側面もあり、その部分も非常に重要である。
- コストが安いからいいというわけではない。ダムの役割から必要性を説明し、その役割に対する応分の負担は必要であると考えている。
- 利水代替案の貯水池案は上流まで導水しなければならない。新規利水は導水の必要性を理解できるが、正常流量を上流まで導水するのは現実的ではないのではないか。
- 計画の変更で対象降雨量を増やしているが、それ以上の雨が降らないとも限らない。変更計画が適正な規模となっているかを丁寧に説明する必要がある。
- ダムで洪水を防御しても、下流で土砂崩れがあれば危険を排除できない。砂防や土砂災害対策も併せて実施するべきではないか。
- 地元が誇れ、地域の宝になって、賑わいが創出されるようなダム整備を実施してほしい。
- ダムができるまでにどうしても時間がかかる。その間の地元流域の住民のために、河川の点検や必要箇所の修繕などを適切に実施することが必要である。

関係地方公共団体

- 平成16年台風23号では、非常に大量の降雨があり、流域に甚大な被害があった。被災した地元からすると、一日も早くダムを完成させてほしい。
- 新規利水の代替案では、地下水取水が検討されているが、渇水時には地下水が塩水化したとの情報もある。代替案として実現するのは困難だと思う。